

再評価結果（平成18年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課
担当課長名：鈴木 克宗

事業名 一般国道10号門川日向拡幅 <small>かどかわひゅうがかくふく</small>	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 九州地方整備局																													
起終点 自：宮崎県日向市新生町一丁目 <small>ひゅうがしんせいちょういつちようめ</small> 至：宮崎県日向市大字平岩 <small>ひゅうがしおおあざひらいわ</small>	延長 3.0km																														
事業概要 一般国道10号は、北九州市を起点とし、大分市、宮崎市を経て鹿児島市に至る延長約450kmの主要幹線道路である。門川日向拡幅は交通渋滞や事故危険箇所の解消による、沿線地域の発展を支援する延長11kmの4車線拡幅事業である。																															
S45年度事業化	H8年度都市計画決定	H12年度用地着手																													
H14年度工事着手																															
全体事業費	112億円	事業進捗率																													
	28%	供用済延長																													
		0km																													
計画交通量 27,700台/日																															
費用対効果分析結果	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">B/C</td> <td style="text-align: center;">(事業全体)</td> <td style="text-align: center;">2.2</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(残事業)</td> <td style="text-align: center;">3.7</td> <td></td> </tr> </table>	B/C	(事業全体)	2.2	(残事業)	3.7		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">総費用</td> <td style="text-align: center;">(残事業)/(事業全体)</td> <td style="text-align: center;">62/103億円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(事業費)</td> <td style="text-align: center;">74/112億円</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(維持管理費)</td> <td style="text-align: center;">25/25億円</td> <td></td> </tr> </table>	総費用	(残事業)/(事業全体)	62/103億円	(事業費)	74/112億円		(維持管理費)	25/25億円		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">総便益</td> <td style="text-align: center;">(残事業)/(事業全体)</td> <td style="text-align: center;">231/231億円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(走行時間短縮便益)</td> <td style="text-align: center;">187/187億円</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(走行費用減少便益)</td> <td style="text-align: center;">27/27億円</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(交通事故減少便益)</td> <td style="text-align: center;">17/17億円</td> <td></td> </tr> </table>	総便益	(残事業)/(事業全体)	231/231億円	(走行時間短縮便益)	187/187億円		(走行費用減少便益)	27/27億円		(交通事故減少便益)	17/17億円		基準年 平成17年
B/C	(事業全体)	2.2																													
(残事業)	3.7																														
総費用	(残事業)/(事業全体)	62/103億円																													
(事業費)	74/112億円																														
(維持管理費)	25/25億円																														
総便益	(残事業)/(事業全体)	231/231億円																													
(走行時間短縮便益)	187/187億円																														
(走行費用減少便益)	27/27億円																														
(交通事故減少便益)	17/17億円																														
事業の効果等 <ul style="list-style-type: none"> ・都市の再生（市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携） ・国土・地域のネットワークの構築（日常生活圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる） <p style="text-align: right;">他12項目に該当</p>																															
関係する地方公共団体等の意見 主要渋滞ポイントの解消や事故危険箇所の解消等重要な役割を果たす事が期待されており、一般国道10号整備促進期成会等より早期整備の要望（H17.6）を受けている。																															
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 主要渋滞ポイントや事故危険箇所が存在し、混雑度も1.56に達する等、渋滞や事故等による現地の交通への影響は深刻である。																															
事業の進捗状況、残事業の内容等 昭和45年度に事業化し、平成16年度末における財光寺地区（L=3.0km）の事業進捗率は28%、うち用地補償費の進捗率は29%となっており、引き続き用地買収及び工事等鋭意事業を継続している。																															
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 新生町交差点付近、塩見大橋関連L=0.3km及び延伸L=0.4km区間の進捗はそれぞれ9割、7割を超えており、平成17、19年度の供用を目指し、鋭意事業を推進しているところである。さらに残区間についても土地区画整理事業と調整を図っており、早期供用に向け事業を推進していく。																															
施設の構造や工法の変更等 リバースジョイント工法による路床改良等の新技術活用等によりコスト縮減を図っている。																															
対応方針 事業継続																															
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。																															
事業概要図																															